

2017 バーモントカップ

第27回全日本少年フットサル大会宮城県大会実施要項(改訂)

- 1 名称 2017 バーモントカップ第27回全日本少年フットサル大会宮城県大会
- 2 主催 一般社団法人宮城県サッカー協会
- 3 特別協賛 ハウス食品グループ本社株式会社
- 4 共催 株式会社モルテン
- 5 後援 株式会社 ヴォスクオーレ仙台 東北レチボン株式会社 株式会社25sports
株式会社メモリアート
- 6 主管 一般社団法人宮城県サッカー協会フットサル委員会／宮城県フットサル連盟
- 7 日程 2017年6月17日(土)・18日(日)・25日(日)
【1次ラウンド】2017年6月17日(土) 8:00～18:00(リーグ戦は半日単位予定)
【会場】大崎市／古川総合体育館(大崎市古川旭四丁目5-2 0229-24-0511)
加美町／中新田体育館(加美町字一本杉58 0229-63-5880)
加美町／陶芸の里スポーツ公園総合体育館(加美町宮崎字新土手浦7
0229-69-6555)
【2次ラウンド】2017年6月18日(日) 8:00～18:00(リーグ戦は半日単位予定)
【会場】大崎市／古川総合体育館(大崎市古川旭四丁目5-2 0229-24-0511)
【決勝ラウンド】2017年6月25日(日) 8:00～17:00(ノックアウト方式)
【会場】大崎市／古川総合体育館(大崎市古川旭四丁目5-2 0229-24-0511)
- 8 参加資格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 一般社団法人宮城県サッカー協会を通じて、公益財団法人日本サッカー協会へ、「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独チームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームが参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する年齢は、当該年度の満年齢が12歳以下であること。ただし、小学校に在学中の選手はこの年齢制限を適用しない。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① 一般社団法人宮城県サッカー協会を通じて、公益財団法人日本サッカー協会へ、「4」の種別で加盟登録した単独チームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームが参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する年齢は、当該年度の満年齢が12歳以下であること。ただし、小学校に在学中の選手はこの年齢制限を適用しない。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 全国大会まで、選手は他のチームで参加してはいけない。

(4) 選手及び役員は、複数のチームで参加できない。ただし、一つの加盟登録チームから、複数のチームが参加する場合はこの限りではない。

(5) チームは、大会期間中必ず帯同審判員（フットサル審判有資格者）1名以上帯同させること。(参考:フットサル4級新規取得講習会4/23(日)会場:松島フットボールセンター)

9 参加チームとその数

1次ラウンド(予選リーグ戦)については、最大48チームとする。2次ラウンド(予選リーグ戦)については、最大24チームとし、決勝ラウンド(ノックアウト方式)については、8チームとする。

※5/18エントリー数の確定。

10 大会形式

(1) 1次ラウンド：

48チームを4チームずつ12グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位、2位の24チームが2ラウンド(予選リーグ戦)へ進出する。

2次ラウンド：

24チームを4チームずつ6グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位の6チームに加え、グループの2位の中で成績上位2チームが2次ラウンド決勝ラウンド(トーナメント戦)へ進出する。

※ 順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム内の対戦成績
- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ 抽選

※ 各グループ2位の中で成績上位の2チームは、各グループにおける勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 各グループにおける総得失点差
- ② 各グループにおける総得点数
- ③ 抽選

(2) 決勝ラウンド：8チームによるノックアウト方式で行う。3位決定戦を行う。

11 競技規則 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会フットサル競技規則による。

12 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ

- ① 大きさ：原則として、32m×16m
- ② センターサークルの半径：2.5m
- ③ ペナルティーエリア四分円の半径：5m
- ④ ペナルティーマーク：5m
- ⑤ 第2ペナルティーマーク：8m
- ⑥ 交代ゾーンの長さ：4m
- ⑦ タイムキーパーのテーブルの前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m
- ⑧ 守備側競技者のボール等から離れる距離
 - フリーキック：4m
 - コーナーキック：4m
 - キックイン：4m

- (2) ボール 試合球：モルテン製 ヴァンタジオ 3000 フットサル (F8V3000) 3号ボールを大会事務局で準備する。
- (3) 競技者の数 : 5名 ・交代要員の数 : 10名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数 : 2名以内
- (4) チーム役員の数 3名以内
- (5) 競技者の用具
- ① ユニフォーム :
- (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム (シャツ、シューズ、ストッキング) を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
- (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (オ) 選手番号については1 から99 までの整数とし、0 は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (カ) ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (キ) その他のユニフォームに関する事項については、公益財団法人日本サッカー協会のユニフォーム規程に則る。
- ② 靴 : 靴底は接地面が飴色、白色もしくは無色透明の屋内用シューズを使用可能とする。
(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)
- ③ ビブス : 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (6) 試合時間
- ① 1次ラウンド : 20分間 (前後半各10分間) のランニングタイムとし、タイムアウトなし、ハーフタイムのインターバルは2分間 (前半終了から後半開始まで) とする。累積ファールは3回の特別ルールとして、4回目からの直接フリーキックとする。
- ② 2次ラウンド : 16分間 (前後半各8分間) のランニングタイムとし、タイムアウトなし、ハーフタイムのインターバルは2分間 (前半終了から後半開始まで) とする。累積ファールは3回の特別ルールとして、4回目からは直接フリーキックとする。

- ③ 決勝ラウンド：20間（前後半各10分間）のプレーイングタイムとし、タイムアウトあり、ハーフタイムのインターバルは5分間（前半終了から後半開始まで）とする。累積ファールは大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会フットサル競技規則に基づく。
- (7) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）
- ① 1次ラウンド及び2次ラウンド：引き分け
 - ② 決勝ラウンド（決勝戦を除く）：PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
 - ③ 決勝：6分間（前後半各3分間）の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

13 懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (2) 本大会期間中に警告の累積2回に及んだ選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、本大会の終了のときに警告の累積は消滅する。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、全国大会出場チームは全国大会で消化する。それ以外のチームは、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) その他、懲罰に関する事項については、公益財団法人日本サッカー協会の「懲罰規程」に則り、一般社団法人宮城県サッカー協会の規律委員会が決定する。

14 参加申込

- (1) 1チームあたり24名（選手20名、役員4名）を上限とする。
なお、申込締め切り以降は参加申込書の内容変更を認めない。
- (2) 宮城県大会出場チームの申込期限は、2017年5月15日（月）とする。
- (3) 参加チームは、所定の大会参加申込用紙に必要事項を記載の上、下記メール宛に参加

15 電子選手証または選手証

フットサルチーム登録の各チーム登録選手は、公益財団法人日本サッカー協会発行の電子登録証の写し（写真が登録されたもの）また、サッカーチーム登録の各チーム登録選手は、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証（写真が貼付されたもの）又は電子登録証の写し（写真が登録されたもの）を代表者会議会場および試合会場に持参すること。電子登録証が確認できない場合は、試合に出場できない。

16 参加料

- (1) 1次ラウンド(予選リーグ戦)については、各チーム5,000円
- (2) 2次ラウンド(予選リーグ戦)に進出したチームについては、各チーム5,000円
- (3) 決勝ラウンドに進出したチームについては、各チーム5,000円

以上、1次ラウンド(予選リーグ戦)については、代表者会議当日に会場受付にて参加料を徴収する。それ以外については、2次ラウンド(予選リーグ戦)及び決勝ラウンドに進出した会場にて当日

に徴収する。

17 表彰

優勝チームには賞状とカップを授与する。

また、2017年8月18日（金）～ 20日（日）に東京都/ 東京都/ 駒沢オリンピック公園 体育館、大田区総合体育館で行われる全国大会の出場権を得る。

準優勝チームには賞状と盾を3位・4位のチームには表彰状を授与する。

なお、表彰式は決勝戦終了後、準備が出来次第行いますので当該チームの選手は参加をお願いいたします。

18 帯同審判員

(1) 各チームの帯同審判員の方は、割当られた試合の審判（2審）を務めていただきます。

なお、割当については、大会当日に各会場本部で確認して下さい。

(2) 大会当日は、割当られた当該試合の30分前には大会本部に参集して下さい。

なお、各会場の選手同様に更衣室を利用してお下さい。

(3) 下記のを必ず装着若しくは携帯してください。

公益財団法人日本サッカー協会発行の審判証（写真が貼付されたもの）又は電子登録証の写し（写真が登録されたもの）、審判着一式、フットサル審判員ワッペン、フェアプレーワッペン、リスペクトワッペン、体育館用シューズ、筆記用具等。

(4) 審判手当を準備する予定でしたが、チーム数により支給が叶いません。担当する試合終了後大会本部で粗品を受け取ってください。

19 代表者会議(抽選会及び指導者講習会)

抽選会：2017年5月28日（日） 18:00より、古川総合体育館(抽選会当日に参加賞をお渡ししますので、参加する各チームは必ず出席をお願いします。)

指導者講習会：2017年5月28日（日） 19:00より、古川総合体育館(抽選会後に代表者会議参加者を対象にフットサル指導者講習会を開催しますので、参加についてお願いします。)

※ 抽選会に伴い大会会場の運営について、大崎地区のチームを運営担当チームとすることから、6/17(土)3会場(各会場コート2面)午前2チーム、午後2チームを割り当てしシードとする。

また、6/18(日)・6/25(日)についても、一会場ですが、勝敗に関係なく運営担当として大崎地区チームを充てる。

※ その他シード等については、①昨年ベスト10を3会場に割当て。②チーム内2チーム参加の場合は同会場の午前と午後に割り当てる。その後に入順で抽選する。

20 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

21 その他

(1) 開会式は行いません。

(2) ユニフォームは、フィールド及びG Kは正・副両方を用意する。また、予選リーグ、決勝ラ

ウンドを通して、組合せの若い番号・記号が「正のユニフォーム」を着用することとして、両チームともに同色の場合は本部にて決定する。

- (3) 準優勝・第3位のチームに「第14回ドコモ東北少年少女フットサル大会」への出場資格を付与する。
- (4) 怪我等の対応はチームでお願いいたします。なお、選手は、保険証または保険証のコピーを持参することが望ましい。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により試合開始不能または中止になった場合、それ以降の処置については大会本部、または本大会の規律委員会で決定する。
- (6) 大会にあたり、主催者側では宿泊や弁当の斡旋をおこなっておりませんので、チームでの対応をお願いします。
- (7) ベンチは、対戦表の左側チームがオフィシャル席からピッチを見て左側となります。(試合開始時でハーフタイムでベンチを交換する。)
- (8) アリーナに入る全ての方チーム役員・選手等、体育館用シューズを着用してください。なお、靴底は平らなもので設置面が紺色、白色もしくは無色透明のもののみとします。
- (9) アイシング用の氷やコールドスプレー等と帯同審判員の昼食はチームで準備してください。

22 その他連絡事項

- ① 大会運営について、各チームは得点版の運営協力をお願いします。また、会場準備及び片付けについても協力をお願いします。
- ② 抽選会後の指導者講習会への参加は、基本全員参加です。室内用シューズと軽い運動のできる服装で参加してください。
- ③ 各チームの個別控え室は設けてありません。着替えは男子及び女子ロッカールームを使用してください。観覧席等一般客が出入りできる場所での着替え（肌の露出）はしないでください。
- ④ 1試合目のチームはユニフォーム等の用具チェックは、会場で実施します。2試合目以降については、当該チームの試合、前の試合の時間に、体育館ロビーに集合し、ユニフォーム等の用具のチェックを審判及び運営等から確認を受けてください。(交代要員を含めたメンバー表に記載された全選手)
- ⑤ コート内練習は、一次ラウンドは当該試合前にコート内での練習ができます。それ以外は前試合終了後及び前試合ハーフタイムの時間です。
- ⑥ 試合終了後の対戦チーム挨拶は時間の関係上省略します。
- ⑦ フットサル大会以外の利用者への迷惑行為をしない。(通路・階段・ランニングコース)
- ⑧ 大会会場の2階スタンドから身を乗り出さない。(各チームで監視)
- ⑨ 大会会場の試合コートでの飲水は、シート上のみ可、フロアにこぼさない。
- ⑩ 大会会場の体育館・アップ場所以外は、ボール使用厳禁。(階段・通路・応援席など) また、体育館内でのサッカーボールについても使用禁止です。
- ⑪ 大会各会場で禁煙に協力する。やむを得ず喫煙する場合、所定の場所で行う。吸い殻の処理も適切(空き缶やペットボトルに入れ放置しない)に行う。

- ⑫ チーム内で出たゴミは持ち帰る。(会場の美化とマナーの厳守)
- ⑬ 会場駐車場については、十分に確保しています。(会場の駐車ルールを厳守)
- ⑭ 屋外シューズをそのままに体育館では絶対に履かないこと。また、砂等ふき取ったり、水洗いして、そのまま屋外シューズを体育館で履くことも絶対にしないこと。

※ 以上⑦から⑭までの注意点については、監督(指導者等)・選手・父兄等(その他チーム応援者も含む)、参加するチームについては周知徹底をお願いします。(今後、体育館を使用するのフットサル大会にかなり影響が出てきます。少年・少女だけでなく、大人までの全般にフットサル大会の開催が出来なくなりますので、よろしくお願いします。)